

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ニックス	代表者	西川 和吉	法人・ 事業所 の特徴	利用者及び御家族のニーズに柔軟・適切に対応している。 通いサービス・宿泊サービスにおいてただ過ごすのではなく、体操やリハビリ（理学療養士）を取り入れて活動的に過ごして頂いている。訪問サービスも自立に向けた支援を心掛けており、なるべく長く府中町で過ごせるようなサービスを展開している。
事業所名	マルチケア安芸府中	管理者	河手 沙樹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	人	1人	人	9人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	サービス評価における改善計画を実施する。	コロナ禍では出来ていなかった、食事などにも利用者様の意見を元に計画し実行するようになった。	事業所としてもっと地域との関わりを持って行けるのではないかな。	ボランティア活動を取り入れるよう積極的に関わりを深めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設の共有の空間が利用者様にとって不快な思いや混乱をまねくことがないように、季節感や生活感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしていく。	利用者様との掃除や家事作業を一緒にしたり、事業所に季節感が出るようカレンダーや壁紙作りを準備から行っている。	施設や地域の方にも使用してもらっているコミュニティも毎日掃除をしている。	施設内の環境整備を行う。季節感や役割を持っていただき花壇なども取り入れていく。
C. 事業所と地域のかかわり	つばきコミュニティを開放し、地域の方に気軽に来ていただけるようにしていく。	いきいきサロンの方たちに毎月利用してもらえるようになった。	介護相談ののぼり旗を立て地域の方にも入って来てもらえるきっかけを作っている。施設周辺の小学校などの行事に参加できるよう関係づくりを行っている。	いきいきサロンの方たちにコミュニティを使用していただく。学校からの職場体験実習の受入れを行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者様が外出できる機会を作る。	朝の掃除の際に、地域の方への挨拶や登下校時の見守りなど行っている。散歩の機会を作り、揚倉山や空城山公園などで地域の方との交流を行っている。	地域の行事も少しずつ開催していることが増えてきた。行事の日程を広報誌や掲示板で確認できるので活用していく。	地域の行事に参加していく。引続き挨拶運動を行い、地域資源を活用していく。

E. 運営推進会議を活かした取り組み	サービスの取り組みについて報告し、そこでの意見をサービスの質の向上に活かしていく。	事業所の取り組みについてはお伝えできているが、意見を聞き出すことができていない。	実際に施設内をみてもらえる機会を作るようにするとよいのではないか。(見学等) 報告の際は写真があるので雰囲気分かりやすい。	報告を継続して行い、事業所の課題を見直し改善を行っていく。地域との関わりを報告していく。
F. 事業所の防災・災害対策	年に2回の消防訓練を実施し、災害時などにおける施設としてのできることを教わる。	年に2回の消防訓練は実施できている。あわせて夜間帯での災害時を想定しシュミレーションを行っている。施設にある非常食期限確認や補充を3か月に一度行っている。	今年度の消防訓練から地域の方を交えて行っていくよう計画していくと良いのではないか。	地域の方と訓練を行えるように計画をたてる。